

文28 とよめ ①り ②けれ ③ば、 舟④こぞ
りて泣き ⑤にけり。

問一 傍線部①の終止形は「り」で完了の助動詞「たり」と同様、次の二つの意味を持つ。ここではどうどちらの意味で使われているか。

ア完了（～してしまつた・～た）
※の瞬間に注目
イ存続（～ている・～てある）
※の後の状態に注目

問二

傍線部④は過去の助動詞で、終止形は「けり」である。ここでは何形になつているか。なお、「けり」はラ変型で、「けら」○「けり」「ける」「けれ」一〇」と活用する。

ア已然
オ已然

イ連用
ウ終止
エ連体

文28とよめ①り②けれ③ば、舟④こぞ
りて泣き⑤にけり。

問三 傍線部⑤の「ば」は次の三つの訳を持つ。この場合はどれ？

アもし「ならば」

※未然形+「ば」

イ「ので

※已然形+「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、「ば」の下の出来事が起こった。

ウ「すると・」したところ

※已然形+「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、「ば」の下の出来事が

たまたまが起こった。

問四 傍線部④の訳は？

ア激しくイこつそりウ一人で
エそろつて

文28

とよめ

①り

②けれ

③ば、

舟④こぞ

りて泣き⑤にけり。

問五

傍線部⑤のよう^に、「にけり」とある場合は、「だいたいの場合、「に」（完了の助動詞「ぬ」が活用したもの）+「けり」（過去の助動詞）で、「てしまつた」と訳すが、「に」は完了の助動詞「ぬ」の何形か。（完了の助動詞「ぬ」はナ変型「な^にぬ^ぬる^{ぬれ}ね」で活用する。）

ア已然

イ連用

ウ終止

エ連体

オ已然

カ命令

このページは空白ページです